

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2002年11月5日(最終)

2002年11月3日現在

11月3日に終わる1週間は、同時期としては異常と言える低温に見舞われた。最低気温は-20度Fを記録した。全州各地に降雪があった。

2003年産冬小麦の播種は全州にて完了した(昨年:99%、平年:98%)。そして、83%の圃場で出芽しており、昨年(79%)、平年(79%)より早い。生育状況は前週より多少落ちたが、Goodが52%(前週:55%)である。

2002年産春小麦の収穫作業は略完了した。

春小麦の単位収量は、8月1日付けUSDAの発表では昨年の作柄より悪く、単位収量は22.0Bu/Acre(昨年:23.0Bu)となっている。冬小麦は凶作であった昨年より良く33.0Bu/Acre(昨年:22.0Bu)であった。

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
2003 Winter wheat Seeded (%)	100	98	99	98
Emerged (%)	83	80	79	79
Spring wheat Harvested (%)	100	98	100	100

冬小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	3	11	33	52	1
Last week (%)	2	6	30	55	7
Last year (%)	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
5-yr. Ave. (%)	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

Source: Montana Agricultural statistics Service

2002年産冬小麦及び春小麦の生産量予想：(USAD8月1日発表)

	Area Harvested		Yield			Production	
	2001	2002	2001 bu/acre	2002 Crop		2001 1000 bushels	2002 1000 bushels
	1000 acres	1000 acres		July 1	Aug 1		
冬小麦	870	800	22.0	33.0	30.0	19,140	24,000
春小麦	2,850	3,550	23.0	28.0	22.0	65,550	78,100
デュラム	495	530	24.0	27.0	22.0	11,880	11,660

今後は来年4月まで毎月一度気象概況を報告致します。

当該作柄レポートに関するご質問、お問い合わせは下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com